平成31年度　能登町立宇出津学校　前期 学力向上プラン

プラン名　Let’s enjoy listening &talking 「聴いて話す」（70％）

*12か条＋（プラス）*

*３条*

１　授業づくり

1. 現状・課題（Ｒ）

|  |  |
| --- | --- |
| 課題 | 現状（科学的データ） |
| *友達と関わり合い**ながら、自分の考**えを伝えることが**十分でない。* | ・H31 6年算数　１(３)正答率10％　4年算数　８(２)正答率4％・H31 全国学力質問紙調査（36）自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していたか　　　　　A＋B　69.2%　（26）話し合い活動で考えを深めたり、広げたりすることができているか　A＋B　87.2％・H30 後期プラン「授業の姿：１～５年」聴く姿勢　71.6%　声で反応　74.1%　　　　　　　　　　　　　　　　　　　考えや思いを伝える　71.6%・H30 後期プラン「根拠や筋道の表現」　59.1%[要因]〇関わり合いながら、課題を解決しようとする姿が向上しはじめている。△教科用語や数値、式などを正しく用いて説明することが十分でない。△順序立てて話したり、書いたりすることが十分でない。 |

⑵　計画と実行（Ｐ・Ｄ）

|  |  |
| --- | --- |
| 前期目標 | 具体的取組 |
| *友達の意見や複数の情報・条件を関連付けながら，自分の考えを伝えることができる。* | ・教科用語や数値が曖昧な表現の場合は、必ず問い直して明確な表現になおさせる。・話し合う視点を明確にし、目的意識をもたせて話し合わせる。・関連付けながら、自分の考えを伝えている児童を評価し、全体に広げる。・導入時に振り返りの場面を必要に応じて設定する。・切り返し発問で、考える場面で収束した児童の考えを深める場面で一般化させていく。 |
| 評価項目 | 評価（結果） |
| ・Let’s enjoy授業評価シート「児童に話す視点を与え、関わり合わせる場の設定」A＋B (100％)・算数チャレンジ問題（７０％）・宇出津っ子学びの力アンケート「自分の考えがうまく伝わるよう工夫することができたか」A＋B（８０％） | ・B（100%）・B（70.7%）・B（80.8%） |

1. 検証と改善策（Ｃ・Ａ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 評価項目（誰が，いつ） | 結果 | 改善策 |
| ４ | □授業創りシート（学担・級外，4週）□授業評価シート　　　（総括，4週） | 83.0%62.5% | ・概ね収束した児童の考えを、揺さぶるとともに、目的を明確にし話し合う視点を与えて関わり合いの場を必ず設定する。・「聴く・話す型」を授業において継続的に指導するとともに評価し、全体の定着を高める。 |
| ５ | □授業創りシート（学担・級外，4週）□授業評価シート　　　（総括，4週）□宇出津っ子学びの力アンケート　　　　　　　　　　　（集計，2週） | 80.0%75.0%75.0% | ・関わり合う必要感を生む切り返し発問「なぜ？」と視点カードを用いて話し合いを視覚化することを授業に必ず取り入れ、45分で完結させる。・関わり合って導き出そうとした過程を評価し、聴いて話す能力の定着を高める。 |
| ６ | □授業創りシート（学担・級外，4週）□算数チャレンジ問題　　　　（4週）□授業評価シートVer2　（総括，4週） | 87.5%70.7%86.3% | ・話し合うテーマやツールを明確に与える視点カードの活用で、ねらいに近づく関わり合いの場を設定し、深める場面の充実を図る。・教科用語や式、図、数直線などを用いて関わり合えた姿を評価し、算数的に話す能力の定着を高める。 |
| ７ | □授業創りシートVer2（学担・級外，2週）□宇出津っ子学びの力アンケート（１週） | 87.5%80.8% | ・深める場面での、目指す具体的な関わり合いの姿を明確にした授業を9月2週末まで実践する。・関わり合いながら学びに向かう児童の個々の姿を通知表でも評価し、2学期の学級開きへつなげる。 |

２　基盤づくり

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 前期目標 | 具体的取組 | 評価 |
| 低中高学年がめざす基本的な話す・聴く姿を身に付けることができる。 | ・基本的な「話す・聴く」の型と学習規律を全校児童で共有する学習集会を開催する。　→聴き手の声で話し手を支える大切さを共有する。　→6年生が１～５年生の授業を参観し、「聴く・話す」について助言する。・授業創りシートを活用して，児童に基本的な「話す・聴く」　型が定着しているかを評価する。（毎週金曜日） | B |